



石田裕一



上越市議会市政レポート／No.15

◎新年1月7日から上越市は、大雪に見舞われた。

昨年の暖冬から一転、今年は降雪が集中、中山間地域だけでなく、中心市街地の高田・直江津、さらに海岸部の大潟区・柿崎区でも道路除雪が間に合わない状況が続いた。高田では35年ぶり2mの降雪で、9年ぶりの一斉雪下ろしを実施した。市では「大雪災害対策本部」を設置し対応した。「上越市議会」は今冬の豪雪への対応について次の通り申し入れを行った。

- ① 市道除排雪の促進による早期の道路交通の確保
- ② 災害救助法適用と要援護世帯への除雪支援の期間延長
- ③ 自衛隊派遣の再要請
- ④ 児童・生徒の通学路における安全確保
- ⑤ 市民への情報提供の拡充



今冬は屋根雪下ろし作業中の転落や、除雪機に巻き込まれる事故が多く発生した。さらに空き家の倒壊や農作業施設等の被害も多く発生した。今後しっかり検証し雪対策や支援に取り組み必要がある。雪国はこれからも雪としっかり向き合っていかなければならない。そしてあらためて地域で支え合い助け合う「地域コミュニティ」の大切さを、今年の大雪から学んだ。

今年の3月11日で「東日本大震災」から10年を迎えた。さらに「新型「コロナウイルス」の感染から二年が経ち、いまだに出口の見えない困難な状況が続いている。皆さんと一緒に元気で過ごし、今を乗り越えて行きましょう。

★「絆」に強い上越市を築こう！行かまじやん!

●連日の降雪で2m超えの積雪



●連日の屋根雪下ろし作業



●陸上自衛隊へ災害救助派遣要請



(福祉施設屋根雪下ろし支援)

●国道253号線排雪作業(片側交互通行にて連日の昼夜作業実施) ※浦川原区顕聖寺地内



◆「12月定例会・一般質問」 ※コロナ禍の中、財政健全化について市長に問う!



12月定例会

- 令和2年12月定例会(議会だより“かけはし”No.209)
- (質) 来年度の自主財源の新型コロナウイルスの影響は
- (答) 大幅な減収を見込むが、今後積算の精度を高める
- (質) 指定管理者への減収補填は令和3年度も実施するか
- (答) 感染症の動向と指定管理者の運営状況を考慮し検討する
- (質) 新年度予算ではさらに悪くなる収支の均衡をどう保つか
- (答) 第4次公の施設適正配置計画の推進とICT環境整備
- (質) コロナ禍で中止した事業費の減額補正しない理由と今後
- (答) 執行残額は事業応援給付金などへ流用したため余裕なし

◆第4弾提言書提出「新型コロナウイルス調査対策特別委員会」

令和2年12月18日に「当特別委員会」は「第4弾提言書」をまとめ、議長の代理として杉田副委員長と一緒に、市の高橋理事と八木総合管理部長へ提出する。早急に回答もいただいた。



★【第4弾提言書】※新年度予算へ反映していただくために

- ①インフルエンザ流行期における受診方法の周知→【実施済】
- ②子育て世帯へ支援(母子手帳交付新生児への特別定額給付金の拡充)→【予定はない】
- ③市内事業者への支援継続及び新たな補助金の創設(以下5点)→【検討中】
「プレミアム賞品券・継続」「事業者応援給付金・継続」「店舗等改装促進事業・継続」
「中小企業者チャレンジ応援事業・対象事業者拡充と継続」「上越市企業前進応援補助金・創設」
- ④執行率の低い補助金等の周知の徹底や精度設計の見直し→【検討の中で見直しを図る】

◆上越市議会・勉強会(全議員で定期的に講師を招いて開催)

★テーマ【わたしたちは地域で未来を見つける】 (令和3年1月21日(木))



講師は「(有)F&Cヨシザキ」の吉崎利生氏で、議員全員で「ホワイトボード・ミーティング」を学ぶ。(参加型研修)「ホワイトボード・ミーティング」は「ファシリテーション」の技術で、質の高い話し合いを参加者と共に作れるように、今後もこの技術を高め、活用し成果に結びつけていきたい。

★テーマ【わたしたちは地域で未来を見つける】 (令和3年2月15日(月))



講師は「ソコトコ」の編集長・指出一正氏で、「やわらかいSDGsと関係人口のつくり方」について、全国各地の事例を聞く。「街に魅力が生まれると人が集まり住みたくなる」と、指出一さんから元気をもらい、「SDGs」と「関係人口」の拡大に取り組むたい。

◆文教経済常任委員会 ※所管事務調査と勉強会を開催

●産業観光交流部所管の第三セクター等の経営状況と経営改善について(勉強会)



●令和3年2月2日(火)・「第三セクターの経営健全化」について良い情報交換ができた。コロナ禍の影響で売上げは減少、指定管理者は厳しい経営状況である。今後は民営化も含め検討を進める。

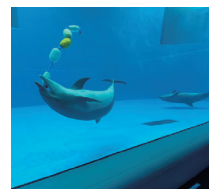
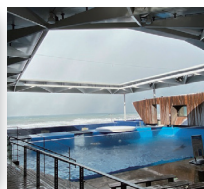


「三和ネイチャリングホテル米本陣」の指定管理者「三和振興(株)」3月末解散

●水族博物館における鯨類飼育環境の検証について(所管事務調査)



●令和3年2月10日(水)・「鯨類飼育環境検証委員会」から「飼育」「建築」「水質」の分野で報告があった。太平洋側との寒暖差、イルカプールの開放的(日光と強風)構造などの問題があると指摘された。



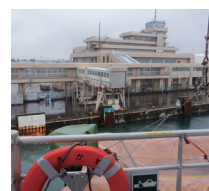
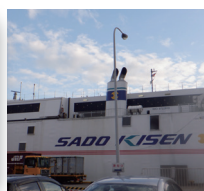
今できる(水位を下げる)対策を実施

●佐渡汽船(株)の経営改善に伴う小木直江津航路の就航船舶変更について(所管事務調査)



同じ会派「みらい」のストラットン議員発言

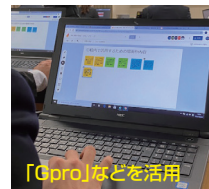
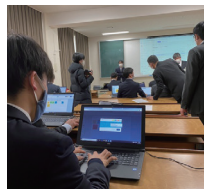
●令和3年2月22日(月)・佐渡汽船(株)は、令和2年度「新型コロナウイルス」の影響があり債務超過の決算で、今後は小木直江津航路のフェリー「あかね」からジェットフォイル「ぎんが」に変更して運航する。



小木直江津航路存続に上越市は今後どう関わるか

●上越市GIGAスクール推進チーム(Gpro)事例発表会〔令和3年2月9日(火)〕(教育プラザ)

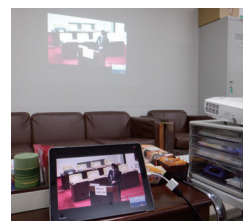
市内小中学校の児童・生徒に一人一台のタブレット端末を配備し、新年度4月からの活用に向けて準備が進んでいる。ICT活用で、子ども達の学習意欲をしっかりと高めることが求められている。新しい可能性をさぐり子ども達の豊かな学びにむけて、先生方の益々の活躍に期待している。



「Gpro」などを活用

◆議会改革の新たなツールオンラインの可能性を探る〔令和3年2月4日(木)・8日(月)〕

会派「みらい」では現在リモートで行う「オンライン会議」の可能性を研究して実施しようと動きだしている。今回は先進的な取り組みをしている「取手市議会」の議員並びに事務局の皆さんのお話を聞いて、上越市議会でもコロナ禍における「オンライン会議」の実施に向けて検討していきたい。



◆長岡市・次世代型個別塾「Teams(チームズ)」視察〔令和3年2月25日(木)〕

会派「みらい」のストラットン議員と共に、オンラインでの不登校の子ども達の個別指導支援をおこなっている次世代型個別塾「Teams」の様子を視察する。上越市も新年度より「GIGAスクール構想」で児童、生徒に一人一台のタブレット端末を配備してITC教育が始まる。学校で学ぶことが基本であるが、それぞれの子どもにあった教育、居場所を提供することが今後重要である。カフェのような個別塾と塾長の思いに感銘し、可能性を感じた。



★6議の会・勉強会
「佐渡汽船(株)」について学ぶ
令和3年1月22日



小木直江津航路の活性化へ



活動レポート

★中郷区地域協議会へ
意見交換会開催(各種事業提言)
令和3年1月23日



中郷区の未来を子ども達へ

★浦中スキー教室
令和3年1月29日



キューピットパレイスキー場へ

★灯の回廊「うらがわら雪あかりフェスタ」
令和3年2月27日



浦川原体育館前準備

「浦川原体育館前」



吹雪の中で指導ボランティア



「ゆあみ」



「虫川大杉駅前」



「月影の郷」

★小林古径記念美術館「キャンドルナイト」
令和3年2月11日




2月11日は小林古径の誕生日、ゆれるキャンドルで心が癒やされて、小林古径の世界を堪能!

★アルビレックス新潟・中野社長と
令和3年3月4日(上越市表敬訪問)



「全県ホームタウン」で応援

★地域活動フォーラム
令和3年3月4日(NPO法人 aisa)



「まちづくり」の人材育成を学ぶ

★浦川原区地域活動支援事業
令和3年3月6日(発表会)



「まちづくり」の主体は地域住民

私の思い 2021年は大雪の影響で混乱なスタートとなりましたが、待ちに待った“春”が、やってきます。私は議員活動として、いよいよ10年目の節目を迎えます。新型コロナウイルス感染の収束がいまだ見えない中で、今後もまだまだ感染防止に努めて過ごしていきましょう。そしてまた以前のような日常生活に戻って皆さまと活動できることを願って取り組んでいきます。